

抗 SS-A 抗体陽性関節リウマチ患者における疾患活動性に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2020年9月23日～ 2022年 3月 31日

〔研究課題〕 抗 SS-A 抗体陽性関節リウマチ患者における疾患活動性の研究

〔研究目的〕 これまで、抗 SS-A 抗体という抗体が陽性の関節リウマチ (RA) の患者さんは生物学的製剤による治療が効きにくい事が報告されています。新たに発症した RA に対して現在第一選択薬であるメトトレキサート(MTX)で治療を行った場合にも、同様に抗 SS-A 抗体が陽性の場合に治療が効きにくいかは分かっていません。そこで今回、多施設共同で過去の診療情報を振り返り、新たに MTX で治療を開始した際の治療反応性を抗 SS-A 抗体の有無で検討します。

〔研究意義〕 抗 SS-A 抗体陽性の RA 患者さんで MTX を使用した際の適切なフォローアップや、治療調整に役立つ可能性があります。

〔対象・研究方法〕 西暦 2016 年 4 月より 2019 年 3 月までの間に、リウマチ・膠原病内科にて関節リウマチの治療のために通院もしくは入院し、メトトレキサート(リウマトレックス[®]、メトレート[®]等)による治療を受けた方。患者様の情報を個人の特定ができないようにした上で集計し解析を行います。

〔研究機関名〕

共同研究機関	研究責任者
慶應義塾大学病院 (主機関)	金子 祐子
倉敷中央病院	脇 大輔
帝京大学ちば総合医療センター	横地 律子
富山大学附属病院	木戸 敏喜
東京共済病院	柳生 有理子
岡山大学病院	佐田 憲映
昭和大学病院	柳井 亮

〔個人情報の取り扱い〕

あなたの個人情報は、氏名などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、あなたとこの符号を結びつける対応表は本学個人情報管理者が管理し、あなたの個人情報の漏洩を防止します。診療や研究に必要な場合に限って、研究責任者やデータ収集を行う分担者などごく限られた人だけが、結果が誰のものであるかを知ることができます。この研究で得られたデータ等は、本研究の目的以外に使用されることはありません。情報使用拒否の申し立てがあった場合は、対象から除外します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:横地律子(助手)

所属: 帝京大学ちば総合医療センター

住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) [内線:2842]